

しこくおうだんじどうしゃどう あなんしまんとせん あなん とくしまひがし
四国横断自動車道 阿南四万十線 阿南～徳島東

事業再評価

(要点審議)

平成29年10月17日



国土交通省四国地方整備局

四国横断自動車道 阿南四万十線 阿南～徳島東

事業の目的

四国8の字ネットワークを形成する四国横断自動車道の一部であり、規格の高い信頼性のあるネットワークを延伸し、徳島市・小松島市の渋滞緩和や近畿圏と徳島県南地域の連携強化を図るほか、災害時における広域交通ネットワーク確保を目的とした道路である

位置図



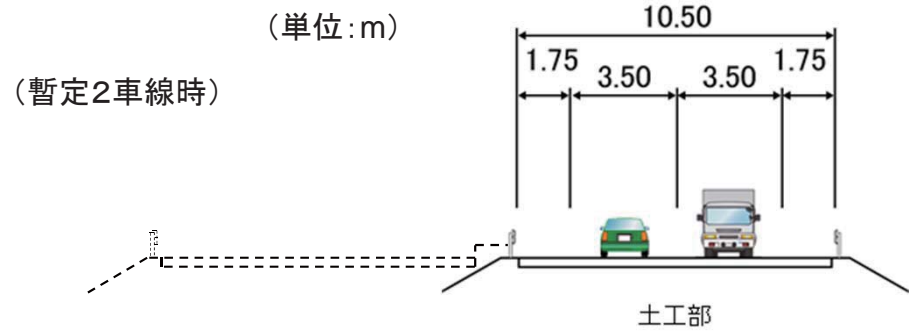
平面図



事業計画等

- 事業着手:平成15年度(阿南～小松島)、平成10年度(小松島～徳島東)
- 整備区間:徳島県阿南市下大野町～徳島県徳島市北沖洲
- 事業延長:17.7km(開通済0km)
- 標準幅員:10.5m(暫定2車線)
- 構造規格:第1種第2級

標準断面図



費用対効果分析結果

- 全体事業費:1,404億円(前回(H26)再評価時:1,404億円)
- 計画交通量:16,800～22,100台/日(前回(H26)再評価時:18,500～19,900台/日)
- 費用便益比:事業全体:1.3 残事業:2.5(前回(H26)再評価時 事業全体:1.5 残事業:1.8)

主な事業効果等

- 南海トラフの巨大地震発生時の津波浸水想定区域を回避し、緊急輸送道路の代替路を確保。
- 徳島市及び小松島市中心部の渋滞緩和。
- 三次医療施設(徳島赤十字病院)への搬送時間が短縮し、重篤患者の救命率向上が見込まれる。
- 徳島津田地区地域活性化計画、マリニピア沖洲整備計画との連携

凡例

- 高速道路
- 一般国道(指定区間)
- 一般国道(指定区間外)
- 主要地方道
- 一般県道
- その他の道路

四国横断自動車道 阿南四万十線 阿南～徳島東

整備効果事例

- 徳島JCT～徳島東IC(仮称)はH31年度に開通を予定
- 鳴門JCT～徳島・徳島東ICの開通見通の公表後、「工場立地件数」が2.3倍に増加し臨海部の企業立地が促進
- 津田木材団地のH31分譲開始が決まった事を受け、津田IC～徳島東IC間をH32年度に開通することをH28.11.21に公表することで、更なる企業立地を促進
- 新たな「陸・海・空の結節点」が誕生し、津田木材団地を「とくしま回帰」先進地として再生

■H18.3開通(徳島JCT～徳島東IC)見通し前後の工場立地件数の伸び



四国横断自動車道 阿南四万十線 阿南～徳島東

前回再評価時からの事業進捗見込み等の変化

- 事業進捗率は約**36%** H29.3末(前回約20% H26.3末)
- 用地進捗率は約**79%** H29.3末(前回約65% H26.3末)
- 津田IC(地域活性化IC(H27.7.31連結許可))
- 平成32年度開通予定(H28.11.21公表)
津田IC(仮称)～徳島東IC(仮称)(延長2.8km)
- 全区間開通に向け、用地買収、橋梁工事等を推進中であり、特に**平成32年度の津田IC(仮称)～徳島東IC(仮称)間(延長2.8km)の開通に向けて重点的に橋梁工事等を推進中**

地域から頂いた主な意見等

○徳島県、徳島市、小松島市、阿南市、阿南市高規格道路建設促進期成同盟会等より、本事業の整備促進について、積極的な要望活動が続けられている。
 H27.1・5・7・8・9・11・12、H28.1・2・5・7・8・10・11・12
 H29.1・5・7・8

県知事の意見

○「四国横断自動車道 阿南四万十線 阿南～徳島東」の事業を継続するという「対応方針(原案)」については、異議ありません。
 「四国横断自動車道 阿南四万十線 阿南～徳島東」は、「地域高規格道路阿南安芸自動車道」とともに、「四国8の字ネットワーク」を形成し、安全・安心を確保する「命の道」となることはもとより、経済・産業の発展、観光振興など「地域創生の礎」となる重要な道路であります。
 このため、引き続き、コスト縮減を図り、平成32年度の「津田～徳島東」区間の開通に向けた事業推進と残る区間の早期供用をお願いします。

対応方針(原案)

- 事業継続

平面図



進捗状況写真

写真①



橋梁工事進捗状況

写真②



改良工事進捗状況